COMPANY PROFILE 2007

2007年の関西電力



関西電力

目　次

ごあいさつ…… 1
安定供給…… 6
原子力発電…… 8
火力発電…… 10
水力発電…… 11
送電…… 12
配電…… 13
暮らしのソリューション…… 16
ビジネスソリューション…… 20
環境保全…… 26
地域共生…… 28
研究開発…… 30
海外事業…… 31
CSR…… 32
会社データ…… 33
グループ会社…… 36
歴史…… 37

ごあいさつ

「お客さまにいつも安心して電気をお使いいただきたい。」この思いを胸に、私どもは、長年電気をお届けしてまいりました。

今では、安定して電気をお届けすることに加え、お客さまのくらしやビジネスのお手伝いへ、活動の場を広げています。

毎日のくらしにおいては、お客さまが便利で快適な生活をしていただけるよう、オール電化や光ファイバー通信、ホームセキュリティサービスなどを提供しています。

ビジネスにおいては、コスト低減や省エネ、CO_2の削減といったお客さまの課題に、エネルギーのプロとして、お客さまの事業・エネルギーの利用形態に応じたソリューションを提案しています。

お客さまに心からご満足いただくために、グループの総力を結集して、お客さまのニーズにあったきめ細かいサービスをお届けできるよう、これからも取り組んでまいります。

また、私どもは、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、自らの活動に伴う環境負荷の低減に積極的に取り組みます。あわせて、省エネに関する情報の提供や未来を担う子供たちへの環境・エネルギー教育などの活動を通じて、皆さまとともに、地球環境問題について考えてまいります。

そして、私どもは、美浜発電所3号機事故を教訓とし、全社員が安全の大切さを心に刻み続けていきます。コンプライアンスや透明性の確保など、社会の一員としての責務を確実に果たし、いつまでも信頼していただける関西電力グループとなれるよう、最善を尽くしてまいります。



取締役社長
森　詳介

お客さまの毎日の喜びが、私たちの喜びです。

私たちはお客さまの毎日のくらしに欠かせない電気を、安全に安定してお届けいたします。
お客さまの喜びが、私たちの喜びです。
お客さまの信頼を大切に、いつも全力で取り組んでまいります。



The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007

The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007



いつも安心して電気を
お使いいただけるよう全力で取り組みます。







お客さまにいつも安心して電気をお使いいただきたい。

社員一人ひとりが、この思いを胸に、お客さまに安定して電気をお届けするために、

たゆまぬ努力を積み重ねてまいります。

The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007



発電から販売までの一貫した事業体制で、
高品質な電気を安定してお届けしています。

安定供給



中央給電指令所



明石海峡大橋のケーブル点検作業

高品質な電気を安定してお届けするため、発電から販売まで、一貫した事業体制で取り組むとともに、電源の最適な組み合わせ「ベストミックス」をすすめています。

発電から販売までの一貫した事業体制

関西電力は、発電から販売までの一貫した事業体制で、電源の「ベストミックス」を推進するとともに信頼性が高く効率的な電力流通システムを構築し、お客さまに高品質な電気を安定してお届けすることに努めています。

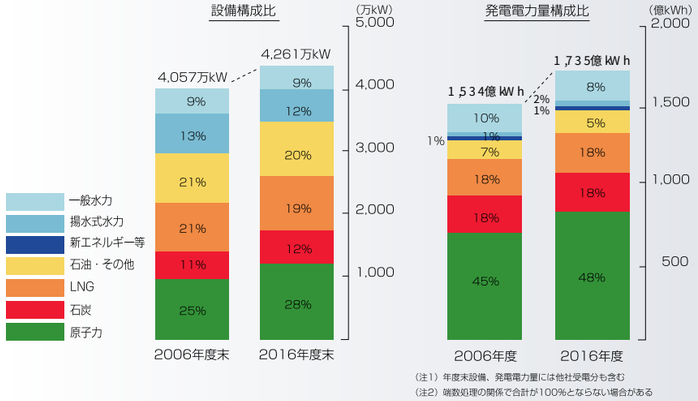
電源の最適な組み合わせ、「ベストミックス」

原子力発電、火力発電、水力発電。将来にわたって電気を安定してお届けし続けるために、燃料調達の安定性、環境への影響、経済性、電力需要の変化への対応力など、それぞれの電源がもつ特長を組み合わせて、最適な電源構成を実現するのが「ベストミックス」です。関西電力では、原子力発電をベースとして火力、水力発電を組み合わせた「ベストミックス」を推進しています。

着実に増加する電力需要への対応

これからの日本は、高齢化社会、情報化社会の進展により、家庭からビジネスシーンに至るまで、多種多様な電化製品や情報機器のさらなる普及が予想され、それに伴って、電力需要も着実に増加するものと考えられます。関西電力は、将来にわたって、電気を安定してお届けすることに努めます。

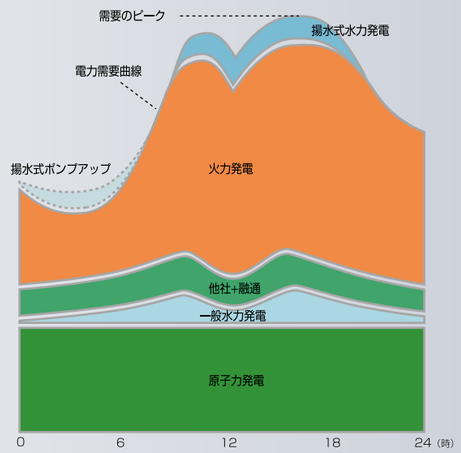
▶ 電源構成比率 ◀



（注1）年度末設備、発電電力量には他社受電分も含む
（注2）端数処理の関係で合計が100%とならない場合がある

▶ 夏の一日の電力需要の変化と電源構成（イメージ図）◀

原子力発電をベースに、ピーク時には火力発電と揚水発電が応援します。



The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007

原子力発電は、ベストミックスのベースを担っています。

原子力発電



中央制御室



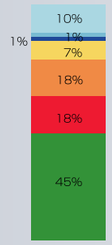
使用済燃料プール



点検作業

地球環境への負荷が少なく、電気の安定供給を支える原子力発電。貴重なエネルギー資源の有効活用を図るとともに、安全運転につとめます。

発電電力量構成比





美浜発電所



高浜発電所



大飯発電所

原子力発電所の安全運転に向けて

関西電力は、美浜発電所3号機事故の反省と教訓を心に刻みつづけ、これからも、再発防止対策を継続的に改善しながら着実に実施していきます。また、30年を超える原子力発電所の高経年化対策や、耐震対策など、適切に安全対策を行っていくことで、原子力発電所の安全運転に努めていきます。

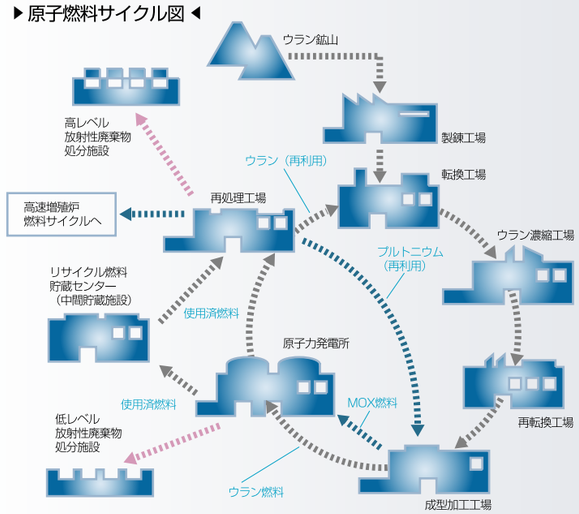
環境への負荷が少なく安定した原子力発電

将来にわたって電気を安定してお届けするために最適な電源構成「ベストミックス」のベース電源を担うのが原子力発電です。原子力発電は、発電電力量全体の約45%を占めています。エネルギー源であるウランは、供給も安定しており、使用済み燃料をリサイクルすることにより、ウラン資源を有効に活用することができます。また原子力発電は、発電する時にCO_2を排出しないので、地球温暖化の抑制に重要な役割を果たす、優れた発電方法です。

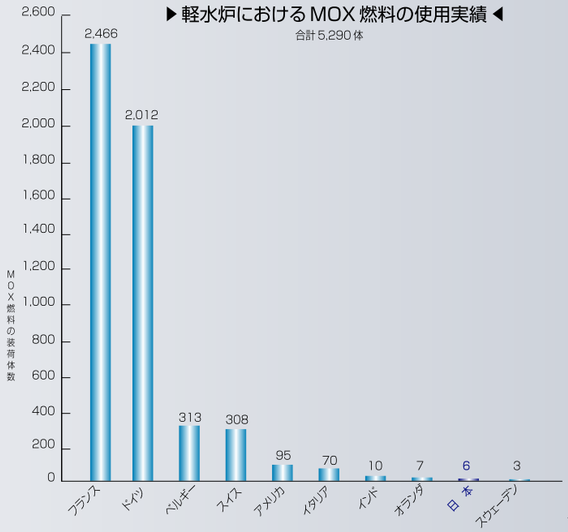
貴重な資源の有効活用

地球上のエネルギー資源には限りがあります。関西電力は、貴重な資源を有効に活用するため、原子力発電の使用済み燃料を再処理し、回収したプルトニウムを、ウランと混ぜ合わせてMOX燃料（混合酸化物燃料）として利用する「プルサーマル計画」に取り組んでいます。

▶原子燃料サイクル図◀



▶軽水炉におけるMOX燃料の使用実績◀



※2005年12月末　出典：資源エネルギー庁

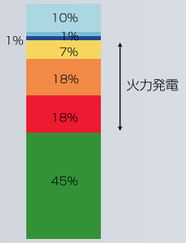


火力発電は、変動する電力需要に柔軟に対応しています。

火力発電



発電電力量構成比

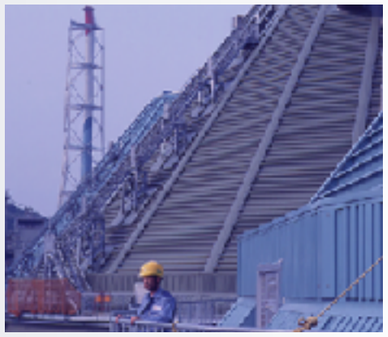


2006年度

南港発電所



舞鶴発電所



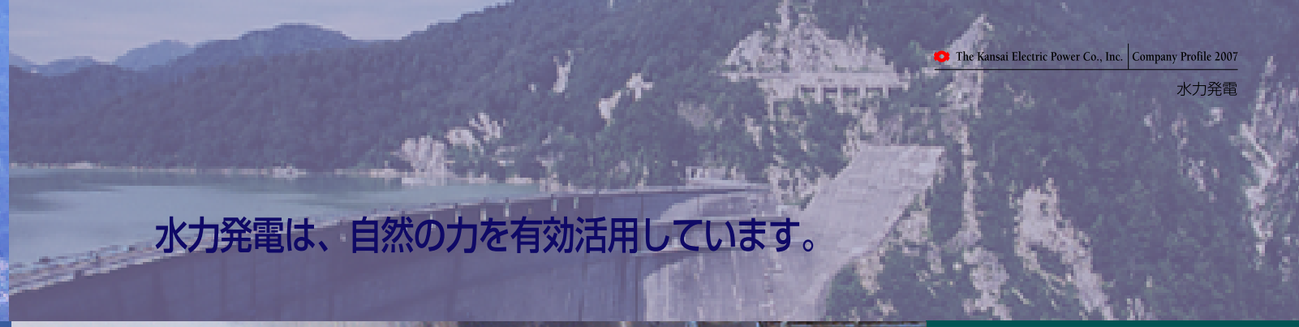
姫路第一発電所



需要の変化に柔軟に対応する火力発電

火力発電は、刻々と変化する電力需要に柔軟に対応できる電源として大きな役割を果たしています。火力発電による発電電力量は全体の43%。関西電力では、クリーンなLNG（液化天然ガス）や比較的価格の安定した石炭など、多様な燃料を使用することにより、環境面と経済性に配慮した発電に努めています。

また、発電効率の向上等による更なる環境負荷の低減、より低廉な電力供給を行うため、最新鋭の発電方式への設備更新を進めています。



水力発電は、自然の力を有効活用しています。

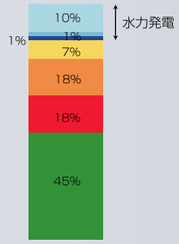
水力発電



黒部ダム（黒部川第四発電所）



発電電力量構成比



2006年度



国内の資源を有効活用する水力発電

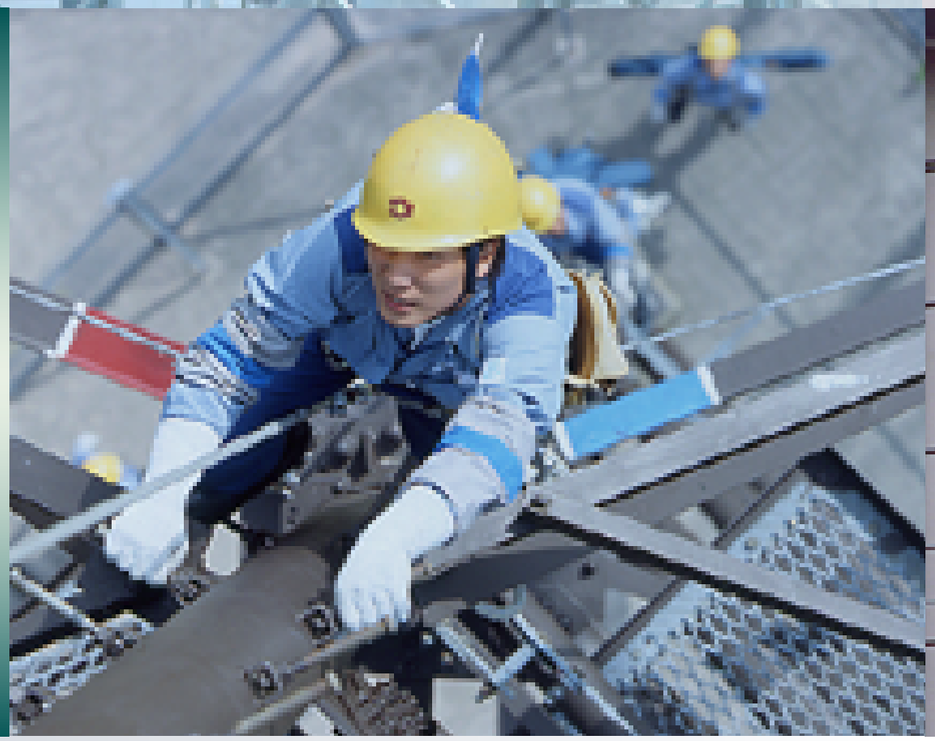
水力発電の発電電力量は全体の11%ですが、水という国産資源を有効に活用する重要な電源です。電力需要が少ない夜間にポンプで汲み上げた水を使って、昼間に発電する揚水式水力発電も、ピーク時の電源として大きな役割を担っています。より効率の良い水車への取替えなどにより、CO_2を発生しない水力発電量を増やすよう、努力・工夫をしています。



電気を安定してお届けするため、日夜努力を重ねます。



送電





配電



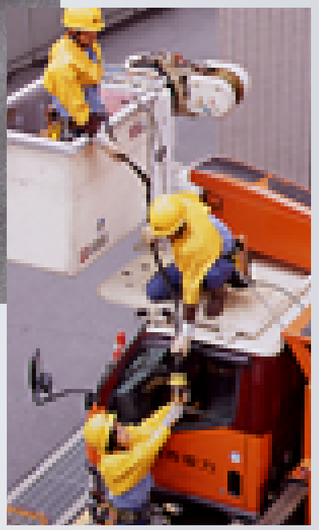
播磨西線



安定した電力流通システムを実現

発電所で作った電気を、お客さまの元へお届けするのが、地域にはりめぐらせた電力流通（送電・変電・配電）システムです。電気を安定してお届けするために、高度なIT技術を用いて、24時間365日監視し、コントロールしています。さらに台風などの災害に備えた周到な訓練を実施しています。その結果、お客さま1軒あたりの停電時間や停電回数も大幅に低減され、世界的にもトップクラスの品質を達成しています。







いつもお客さまに
ご満足いただけるサービスを。



お客さまに心からご満足いただきたい。
関西電力は、グループの総力を結集して、お客さまが
お持ちのさまざまなご要望に、真心をこめてきめ細かい
サービスをお届けできるよう、これからも取り組んでまいります。









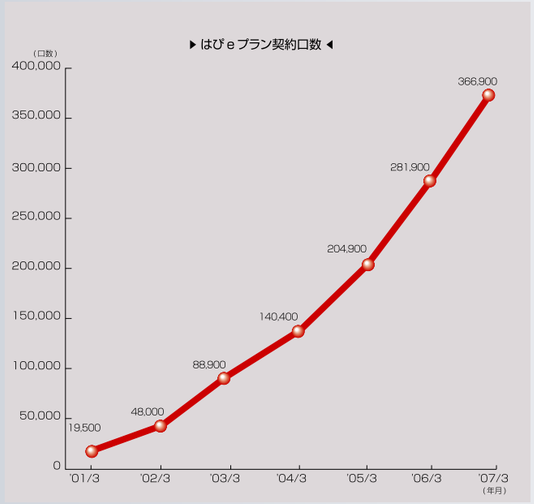
安心で快適な暮らしづくりを お手伝いします。

オール電化で“はぴｅライフ”を実現

火を使わないから安心、掃除が簡単でキッチンがいつも清潔、いつでもすぐに温かいお湯を使えるから便利、空気がきれいでリビングが快適、寝苦しい夏の夜も夜間の安い電気でエアコンが使えるから経済的、など、それぞれのお客さまが、オール電化の暮らし“はぴeライフ”に感じる魅力は様々です。

その魅力を支えるのが、IHクッキングヒーター、省エネ給湯機エコキュート、床暖房、そしてオール電化に適用される割引料金メニュー「はぴｅプラン」です。

さらに、「はぴeポイントクラブ」を2005年７月に発足させています。オール電化のお客さまには、月々の電気のご使用量に応じてポイントが加算され、さまざまな特典と交換できるサービスです。“はぴeライフ”にまたひとつ新たな楽しみが加わっています。







エコキュート（給湯）







IHクッキングヒーター

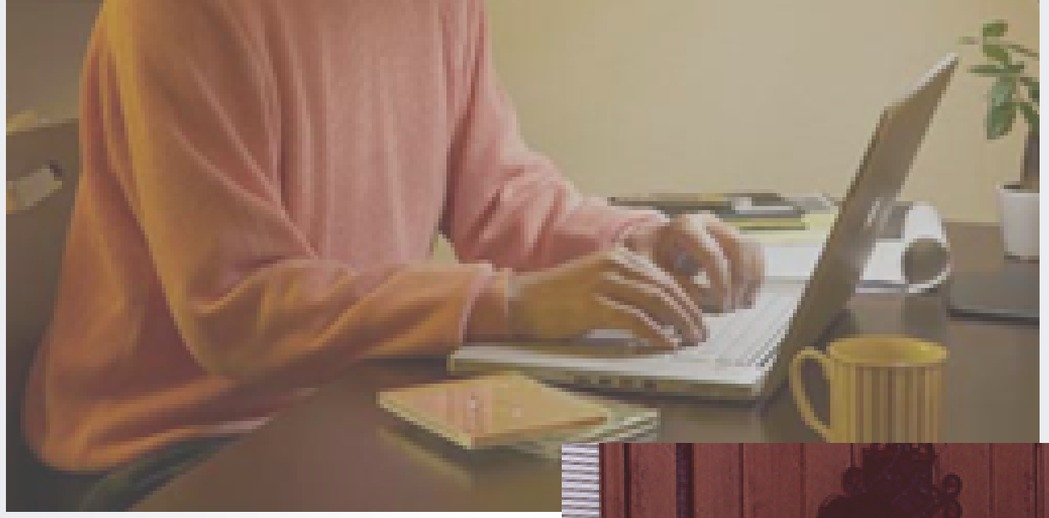






電気床暖房







“はぴeライフ”をもっと“はぴe”に

お客さまの“はぴeライフ”を、もっと“はぴe”にしたい。そんな思いを込めて、関西電力はグループ会社と一体となって、お客さまのライフスタイルに応じたより良い暮らしづくりをご提案しています。

光ファイバー通信で、もっと“はぴe”なくらしを

光ファイバーならではの大容量通信で、ご家族何名かが同時に使っても快適なインターネットライフが楽しめるのはもちろん、電話やテレビも光ファイバーを使ったサービスを提供しています。一本の光ファイバーで、ご家族の豊かなコミュニケーションをサポートします。

ホームセキュリティで、もっと“はぴe”なくらしを

ご家族の安全・安心な暮らしをサポートするため、高品質で低価格なホームセキュリティサービスや、独自の光ファイバーを活用して街全体を見守るタウンセキュリティサービスも展開しています。

関西電力はグループ会社のサービスとあわせて、お客さまのライフスタイルに応じた、もっと“はぴe”な暮らしづくりをお手伝いしています。

eo光電話

ホームセキュリティ（（株）関電SOS）





eo光ネット（（株）ケイ・オプティコム）



eo光テレビ



さまざまなビジネスニーズに、最適なソリューションをご提供します。



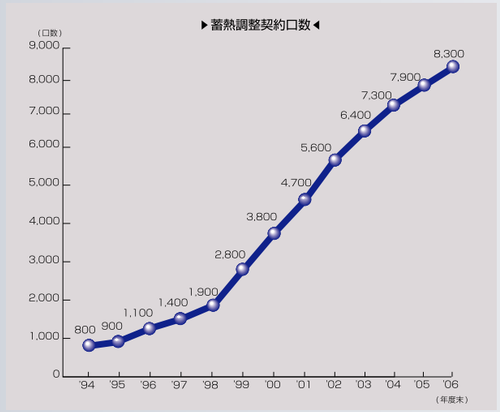
お客さまのニーズにお応えできる信頼される身近なパートナーを目指して

ビジネスのお客さまは、業種や規模が異なるため、エネルギーの利用形態も多種多様で、お客さまの数だけ解決すべき課題があります。電気の上手な使い方でコスト低減や職場環境を改善できないか、エネルギーの賢い選択でコスト低減やCO_2排出量を削減できないか、など、お客さまは様々なニーズをお持ちです。

関西電力はエネルギーのプロとして、長年の経験によって得た知識や技術力を最大限に発揮し、お客さまの課題や幅広いビジネスニーズにお応えできる、信頼される身近なパートナーでありたいと考えています。



エネルギー診断





エコ・アイス（蓄熱式空調システム）











地域への産業立地を積極的に推進

地域が活性化し、持続的に発展を遂げていくことは、地域の皆さまと共に歩む関西電力の願いです。

関西は、歴史ある文化に支えられた大阪、京都、神戸という魅力ある大都市を抱え、交通インフラの充実、産業用地の豊富さ、そのいずれからみても国内有数の産業立地条件を備えています。

関西電力は、自治体等と連携しながら、地域の活性化に向けた産業立地の積極的な推進に取り組んでいきます。

The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007



高付加価値ソリューション・サービスの提供

夜間の安い電気を上手に利用してコストの低減を図るエコ・アイス（蓄熱式空調システム）、また、制御が容易で職場環境を改善できる業務用の電化厨房など、関西電力ではお客さまの悩みを解決できる様々な設備・機器をご提案しています。さらに、初期投資ゼロのリース制度などをそろえ、それぞれのお客さまのニーズに応じたテーラーメイドのソリューションを通じて、電気の上手な使い方のお手伝いをしています。

また、ビジネスのお客さまのニーズはますます高度化しています。熱などの電気以外のエネルギーのニーズをお持ちのビジネスのお客さまには、グループ会社と一体となって、ガス供給やコージェネレーションシステムを含めたエネルギーの最適な組み合わせをご提案しています。

さらに、情報通信の分野でも、電気事業で使用してきた光ファイバー網などの情報通信インフラを有効活用し、超高速・大容量で安定したインターネット接続サービスや専用線サービスをお届けしています。

関西電力はグループ会社のサービスとあわせて、より付加価値の高いソリューションをご提供していきます。

業務用電化厨房

給食事業（（株）エル・スエヒロ フードサービス）



ガス事業（姫路LNG基地）

ガス事業（堺LNG（株））



健康管理支援事業（（株）関西メディカルネット））



中之島クリニック（（株）関西メディカルネットの医療提携先）

未来に向かって、社会とともに。



こども110番運動

より良い未来のため、これからもみなさまとともに歩んでいきたい。
関西電力は、自らの事業活動に伴う環境負荷を低減するなど、地球環境問題に積極的に取り組むとともに、次世代エネルギー供給技術の研究開発や海外での技術協力を行うなど、新しい時代を視野に入れた取り組みを続けています。また、地域社会の一員として文化・スポーツ支援や、未来を担う子供たちへの環境・エネルギー教育などの活動を行っています。



丹後魚っ知館





トロリーバス（黒部ダム）

環境との関わりが深いエネルギー事業者として、地球環境問題に積極的に取り組んでいます。

環境保全



CEF南あわじウィンドファーム（関西グリーン電力基金助成先）



南港発電所（ISO14001外部認証を取得）

地球温暖化防止やゼロエミッションに向けた様々な取り組みを通じて、地球環境の保全につとめています。

製品環境情報
http://www.jemai.or.jp
No. AT-03-001

当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。



ブータン王国/小規模水力発電所建設プロジェクト

地球温暖化防止に向けた取り組み

2008年、いよいよ京都議定書の第1約束期間が始まります。関西電力は、地球温暖化防止を重要な経営課題の1つと位置づけ、国内外において、CO_2の削減や効率的なエネルギー利用に向けたさまざまな取組みを、積極的かつ総合的に展開しています。まず国内においては、発電時にCO_2を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上などの対策を推進しています。また、社会全体で効率よくエネルギーが利用されるよう、自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）などの高効率機器の普及・開発を進めています。さらに、地域のお客さまから寄付金を募り、新エネルギー発電施設の建設を助成する関西グリーン電力基金にも協力しています。一方海外においては、西豪州における環境植林事業、ツバル国における太陽光発電プロジェクトのほか、ブータン王国の未電化村での小規模水力発電、中国の水力発電の建設などのCDM※プロジェクトを通じて、CO_2削減に協力しています。

関西電力は、今後も地球温暖化防止のために、こうした取組みを国内外で積極的に進め、販売電力量あたりCO_2排出量についても、2008～2012年度の5ヵ年平均で0.282kg-CO_2/kWh程度（基準年である1990年度比20%程度低減）に低減するという目標を掲げ、業界トップレベルの水準の維持に努めています。

※CDM：途上国と先進国が共同で温室効果ガス削減に取り組む仕組み。
その結果、生じた削減量を自国の温室効果ガス排出量として分け合うことができる。

ゼロエミッションに向けた取組み

関西電力は、循環型社会に適合した事業活動を実現するため、事業全般にわたる3R活動（産業廃棄物等の発生抑制＜Reduce＞、再使用＜Reuse＞、リサイクル＜Recycle＞）を推進しています。例えば、コンクリート電柱は全てリサイクルし、道路の材料として使用するほか、火力発電所で燃料として石炭を燃やした後に残る灰も、全てセメントの材料として使用しています。
2007年度には、こうした取組みをさらに強化し、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにすることを目指していく、いわゆる「ゼロエミッション」に向けた取組みをスタートさせています。

環境管理、環境コミュニケーションの推進

関西電力は、以上のような地球環境、地域環境の保全のために幅広い取組みを展開しています。こうした取組みについては、社内に整備した環境管理体制のもと、PDCAサイクルに基づいて着実に実施するとともに、環境関連法規制の遵守も徹底しています。あわせてISO14001、エコリーフ環境ラベルなど外部認証を導入することによってさらなる信頼性の向上にも努めています。また、CSRレポートやホームページ等を通じた積極的な環境情報の開示や、地域の子どもたちに環境やエネルギーについて考え、行動するための機会を提供する「かんでんeキッズクラブ」等の活動等に取り組んでいます。

地域における環境への身近な取り組みをサポート

「環境の世紀」といわれる21世紀。関西電力は地域のみなさまと一緒にこの問題に取り組んでいます。「みんなのエコフレンドリー活動」として、植樹や地域美化活動など様々な環境貢献活動を推進しています。



ツバル国／太陽光発電プロジェクト
（ツバル国の首都フナフチ〔上〕と完成予想図〔下〕）

The Kansai Electric Power Co., Inc. | Company Profile 2007

地域に根ざした企業として、地域の発展とともに歩みます。

地域共生



出前教室



植樹活動

文化・スポーツ支援や、未来を担う子供たちへの環境・エネルギー教育など、地域の方々とのふれあいを通じて、地域社会の発展に貢献したいと考えています。



障害者アート公募展
かんでんコラボ・アート21と
最優秀作品



様々な活動を通じて地域と交流

関西電力では、地域や生活に密着した事業者として、地域が実施する行事への協力から障害者福祉、地域の文化支援に至るまで多様な活動を行っています。

具体的には、地域のお祭りへの参加やイベント運営のお手伝いをはじめ、当社の事業所や車両を活用して、犯罪被害に遭う危険を感じた子供たちを一時的に保護し、110番通報の支援を行う「こども110番」運動を行っています。また、障害を持つ方々の芸術活動を支援する障害者アート公募展「かんでんコラボ･アート21」を主催したり、クラシックコンサートやアメリカンフットボールなど文化・スポーツ支援を行うなど地域社会の発展に向け、地域の皆さまと連携し、取り組んでいます。

エネルギーのことを楽しく体験

エネルギーについてもっと身近に体験していただくとともに、地域社会とのコミュニケーションを図りたい。そんな思いで、関西電力は、大阪や神戸、若狭地域など、約20ヶ所に「PR館」を設け、多くの方々にご利用いただいています。PR館ではエネルギーについて体験できるコーナーや、発電のしくみが見られる展示物など、楽しい工夫を随所に施しています。また、未来を担う子供たちに、科学や電気への関心を深めてもらうため、地域の学校を訪問して環境やエネルギーについて資料や実験を通してわかりやすく説明する「出前教室」を行っています。

関西学生アメリカンフットボール大会協賛



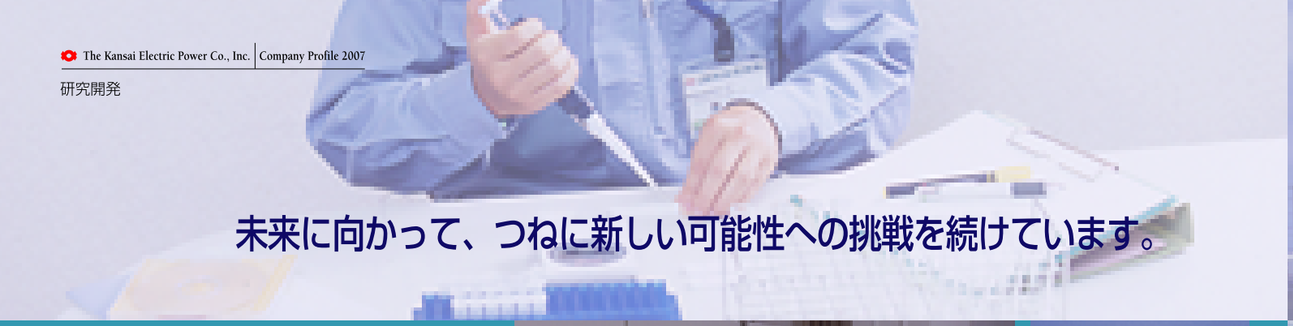


かんでんクラシックスペシャル
「オペラへの誘い」



エル・マール まいづる
（舞鶴発電所PR館）と
館内のプラネタリウム





未来に向かって、つねに新しい可能性への挑戦を続けています。

研究開発

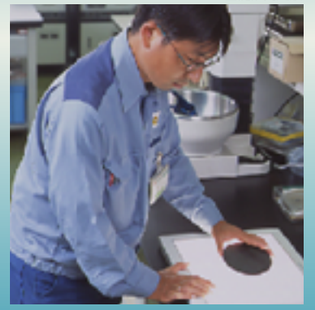
電気事業で蓄積した高度な技術力と豊富なノウハウをベースに、多様な研究開発に取り組んでいます。





大容量SiCモジュールと
SiCインバータ試験風景

SOFC基礎研究風景



移動式水素ステーション



世界が認める地球環境保全のための研究成果

関西電力が地球環境保全への取り組みのひとつとして推進している、吸収液によるCO_2化学吸収法の研究成果は、日本をはじめアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国で特許が認められ、既にマレーシア尿素製造プラントにも採用されています。また、バイオテクノロジーを用いた土壌汚染対策技術の開発を目指し、環境汚染物質である重金属やダイオキシンなどを計測するバイオセンサーや、土壌浄化技術の研究に取り組んでいます。

ナノテクノロジーをキーとした革新的技術の開発

関西電力は、電力損失の大幅な低減を目指し、従来のシリコン素子（Si）に代わるシリコンカーバイド素子（SiC）の研究を行っており、既にSiC素子を用いたインバータの開発に成功しています。このSiCインバータが実用化され、従来のSiインバータに置き換われば、電力損失を半分以下に抑えられると見込まれることから、産業界全体の省エネに大きく寄与するものと期待されています。

次世代エネルギー供給の研究を推進

関西電力では、来るべき水素社会に向けて、燃料電池を使った低コスト・コンパクトな発電システムの実用化に取り組んでいます。他の燃料電池に比べ発電効率が高く、安定性・環境性にも優れた固体酸化物形燃料電池（SOFC）は、画期的な発電技術として注目されています。また、液体水素方式による移動式ステーションの開発にも取り組んでいます。この移動式ステーションはコンパクトに大容量の水素を輸送・供給することにより、低コストで機動性に富んだ水素供給システムを実現するものと期待されています。

環境に優しく高効率なヒートポンプ機器の開発

関西電力は、多くのお客さまに電気をエネルギー源として選んでいただけるよう、地球温暖化対策の切り札とされるヒートポンプ機器の開発に取り組んでいます。代表的なものとして、ご家庭のお客さまには、環境に優しく経済的な、自然冷媒CO_2冷媒ヒートポンプ給湯機「エコキュート」の開発に取り組んでいます。また、ビジネスのお客さまには、ビジネスを支えるユーティリティとして選択していただけますよう、高効率でコンパクト、利便性などの特長のある業務用ヒートポンプ空調機や業務用ヒートポンプ給湯機の開発に取り組んでいます。

多彩なプロジェクトをグローバルに展開しています。



フィリピン/
サンロケ・プロジェクト

海外事業

これまで培ってきた経営資源を活かし、発電事業への参画やコンサルティングの実施など、海外電気事業を積極的に展開しています。



タイ/ロジャナパワー

グローバルに展開する多彩なプロジェクト

国内電気事業で培ってきたさまざまな経営資源を活かし、海外電気事業を積極的に展開し、電気事業の成長に寄与すると共に、新たな収益源として事業の拡大を図り、当社グループ全体の持続的成長につなげていきます。

関西電力は、1998年、フィリピン・サンロケにおいて、日本の電力会社として初めて海外の発電事業に参画しました。その後、2000年3月には「東欧省エネルギー・排出抑制基金」へ参加し、また2003年3月にはタイ国ロジャナパワー社の株式取得しました。また台湾においては、2005年3月に名間水力発電所、2006年12月には国光火力発電所の株式をそれぞれ取得し、経営に積極的に参加しています。現在ラオスの水力開発計画を積極的に進めるなど、関西電力はこれからも多方面にわたり積極的な海外展開をはかっていきます。

海外コンサルティング事業の推進

関西電力は、これまでに培った電力関連技術を活用し、アジア各国においてコンサルティング事業に取り組んできました。発電部門では、独自のRBM（リスクベースメンテナンス）手法を活用した、中国の石炭火力発電設備（出力160万KW）保守点検最適化に関するコンサルティングを実施した他、中国やシンガポールの火力発電設備における燃料転換に関するコンサルティングを実施しています。また上記のフィリピン・サンロケ水力発電所においてはO&Mコンサルティングを実施し、投資と技術供与を車の両輪として、お客さまに貢献しつつ収益を実現しています。流通部門では、台湾において当社の地中送電技術を活用したコンサルティング他を実施、カンボジアではベトナムとの連系線プロジェクトへのコンサルティングを実施中であり、現地の電力供給状況の改善に貢献しています。当社は今後ともこうしたコンサルティング事業を通じて、ビジネスチャンスを発掘していきます。

CSR

CSRの取組姿勢

関西電力グループにとって、CSRとは、コンプライアンスや透明性の確保などにより、社会の一員としての責務を確実に果たすことに加えて、グループの事業活動に対して社会のみなさまから寄せられる期待に誠実にお応えすることにより、社会の持続的発展に貢献していくことと考えています。
このような認識のもと、私たちは、6つの行動原則からなる「関西電力グループCSR行動憲章」を策定しました。
（2004年3月）

関西電力グループCSR行動憲章

1 商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

関西電力グループは、社会に不可欠なライフラインを担う事業者として、お客さまのくらしの基盤を支えていることを認識し、商品・サービスの安全かつ安定的なお届けに、日々、万全を期します。

2 環境問題への先進的な取組み

関西電力グループは、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、事業活動が地球環境に与える影響の大きさを認識し、自らの事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、世界最高水準を目指します。さらに、よりよき環境の創造を目指した先進的な取組みを行い、持続可能な社会の構築に積極的に貢献します。

3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取組みを通じて、地域社会の発展へ積極的に貢献します。

4 人権の尊重と良好な職場環境の構築

関西電力グループは、「人権の尊重」を国際的な合意に基づく重要な責務であると認識し、グループの事業活動に関わるすべての人々にとって、差別のない、安全で働きやすい職場の確保に努めます。

5 透明性の高い開かれた事業活動

関西電力グループは、事業活動に社会の声を的確に反映させるとともに、事業運営における公正さを確保し、社会に対する説明責任を誠実に果たしていくため、社会のみなさまとのコミュニケーションを一層推進し、透明性の高い開かれた事業活動を行います。

6 コンプライアンスの徹底

「企業倫理の確立」と「法令等社内外のルールの遵守」は、企業が社会に存在する上で要求される責務であり、関西電力グループは、これらをすべての活動の基盤として、確実に実践します。また、これらの実践を保証するためのしくみを構築し、その維持・改善を図ります。

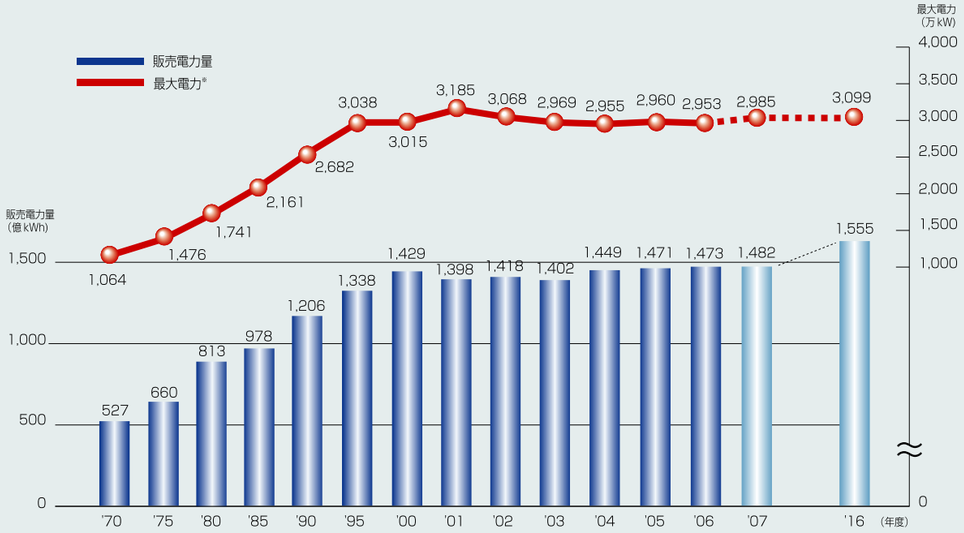
会社データ

概 要 (2007年3月末現在)

設立年月日	1951年5月1日
資本金	4,893億円
発行済株式数	9億6,269万株
売上高	2兆3,968億円（連結2兆5,963億円）
総資産額	6兆1,889億円（連結6兆8,272億円）
従業員数	2万2,166人
販売電力量	電灯　48,360百万kWh 電力　98,897百万kWh 合計　147,257百万kWh
契約口数	電灯　1,211万口 電力　117万口 合計　1,328万口
発受電電力量	1,600億kWh
最大電力	3,306万kW(2001年8月2日) ※発電端1日最大
供給地域	大阪府、京都府、兵庫県(一部を除く)、奈良県、滋賀県、和歌山県ならびに三重県、岐阜県、および福井県の各一部(面積＝2万8,700km^2)

（注）端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

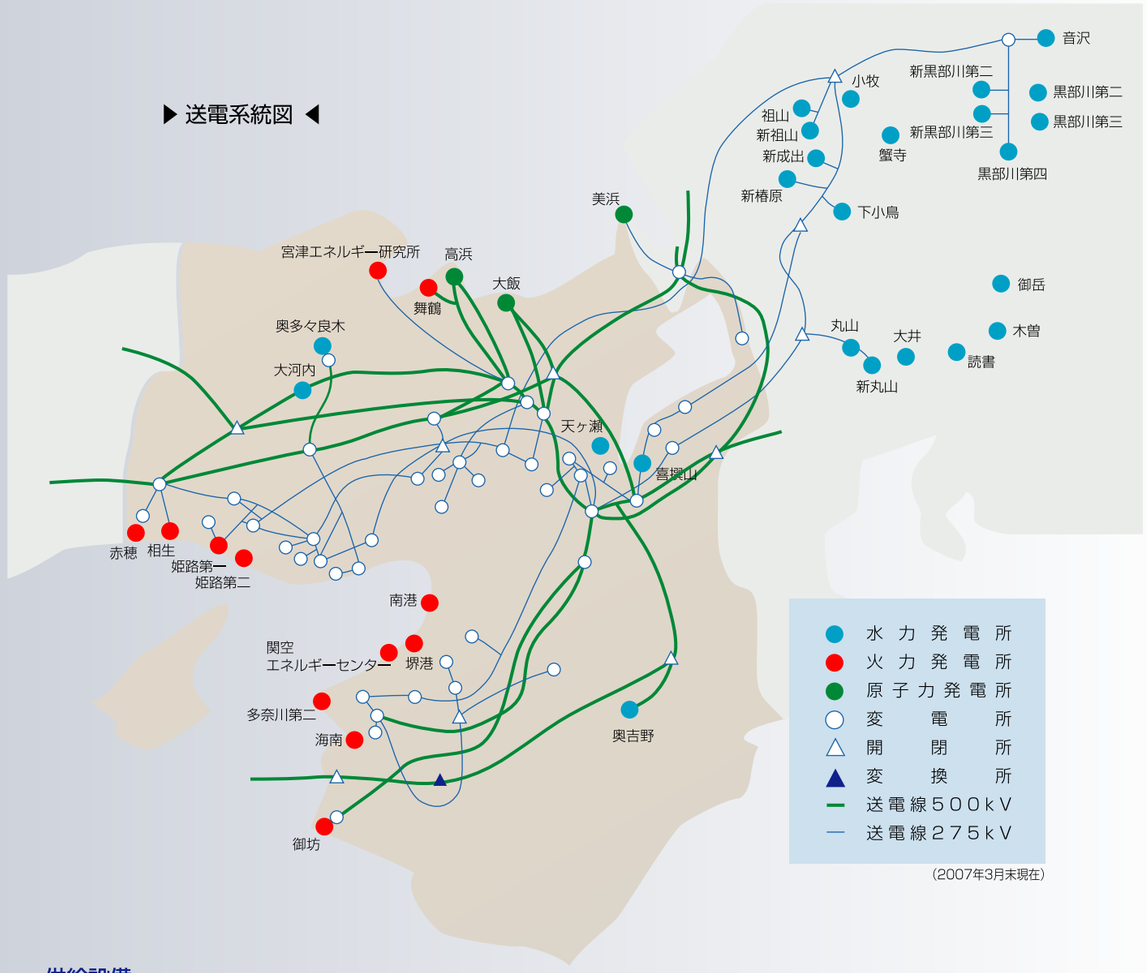
▶販売電力量・最大電力の推移◀



※最大３日平均電力（送電端）

会社データ

▶ 送電系統図 ◀



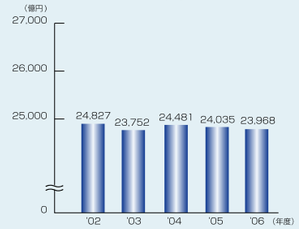
（2007年3月末現在）

供給設備（2007年3月末現在）

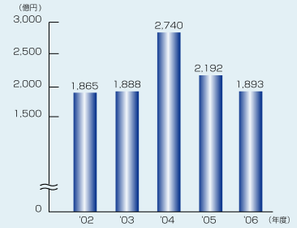
発電所	水力発電所	148カ所	819万kW
	火力発電所	12カ所	1,691万kW
	原子力発電所	3カ所	977万kW
	合計	163カ所	3,486万kW
送電線（亘長）	架空	1万3,956km	
	地中	4,204km	
配電線（亘長）	架空	12万1,644km	
	地中	5,810km	
変電所		1,544カ所	1億4,979万kVA

（注）端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

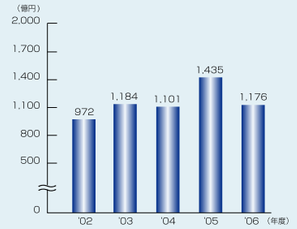
▶ 売上高 ◀



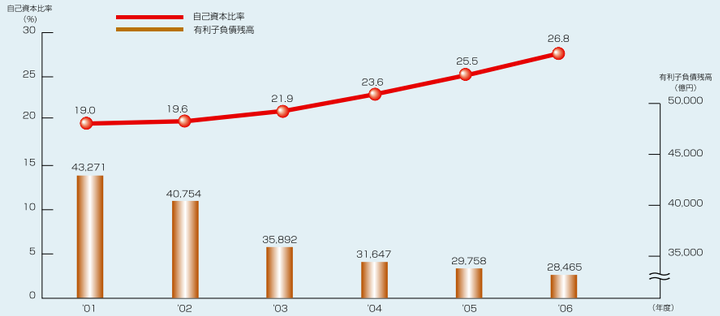
▶ 経常利益 ◀



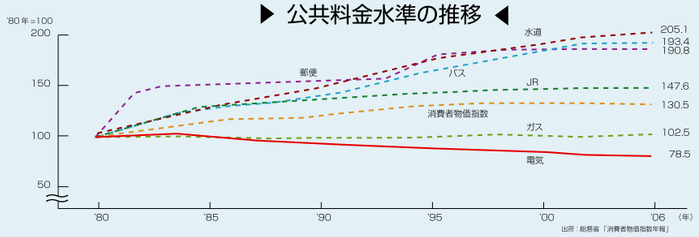
▶ 当期純利益 ◀



▶ 有利子負債残高と自己資本比率の推移 ◀



▶ 公共料金水準の推移 ◀

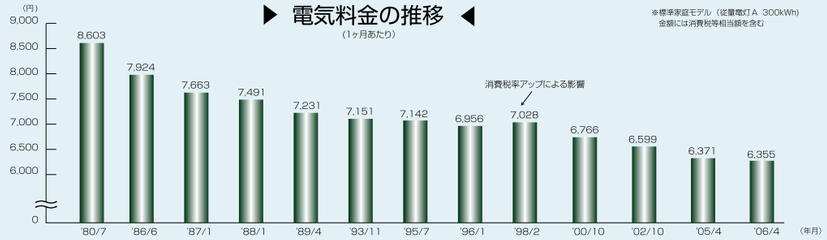


出所：総務省「消費者物価指数年報」

▶ 電気料金の推移 ◀

（1ヶ月あたり）

※標準家庭モデル（従量電灯A 300kWh）
金額には消費税等相当額を含む



▶ 電源開発計画 ◀

'07年3月末

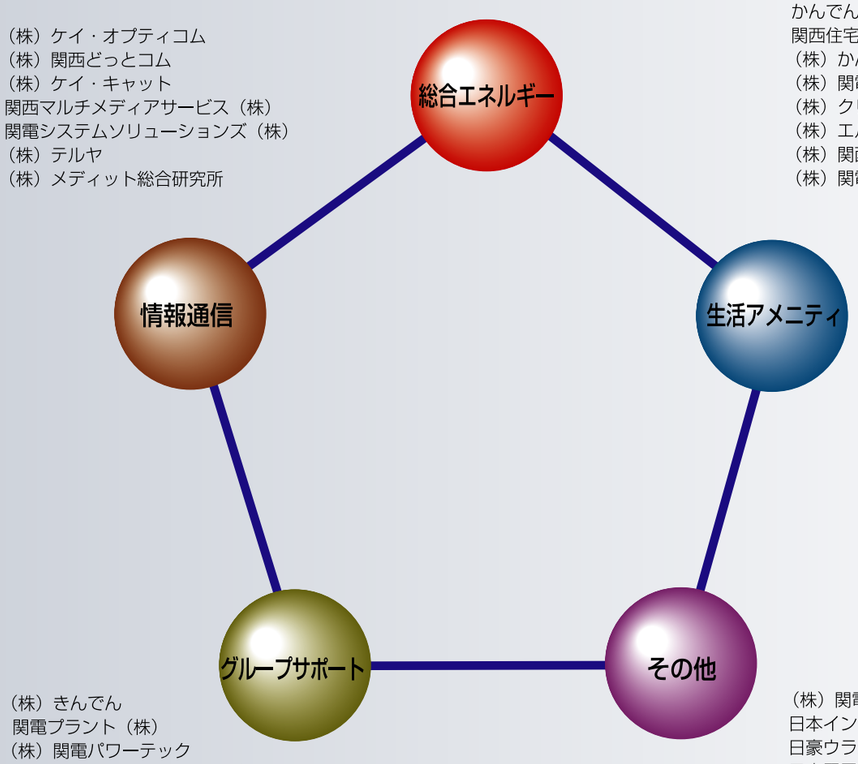
	種別	発電所名	出力（万kW）	運転開始	出力計（万kW）	所在地
工事中	火力	舞鶴2号（石炭）	90.0	'10/8	90	京都
工事中	火力	堺港1号～5号（LNG）※	40.0 x 5	'09/4～'10/10	200	大阪
着工準備中	火力	和歌山（LNG）	1号系列 164.4（82.2×2） 2号系列 205.6（82.2×2）（41.1×1）	'17年度以降	370	和歌山

※堺港発電所は、コンバインドサイクル発電方式への設備更新

グループ会社

（株）ケイ・オプティコム
（株）関西どっとコム
（株）ケイ・キャット
関西マルチメディアサービス（株）
関電システムソリューションズ（株）
（株）テルヤ
（株）メディット総合研究所

（株）関電エネルギーソリューション
エル・エナジー（株）
堺LNG（株）
越前エネライン（株）
関電エネルギー開発（株）
関西国際空港熱供給（株）
大阪臨海熱供給（株）
神戸熱供給（株）
エコ・パワー（株）
日本原子力発電（株）
和歌山共同火力（株）
大阪バイオエナジー（株）
甲賀エナジー（株）
（株）ハイドロエッジ



関電不動産（株）
アーバンサービス（株）
関電ビルマネジメント（株）
かんでんイーハウス（株）
関西住宅品質保証（株）
（株）かんでんジョイライフ
（株）関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ
（株）クリアパス
（株）エル・スエヒロ　フードサービス
（株）関西メディカルネット
（株）関電アメニックス

（株）きんでん
関電プラント（株）
（株）関電パワーテック
（株）原子力エンジニアリング
（株）かんでんエンジニアリング
（株）環境総合テクノス
（株）ニュージェック
（株）日本ネットワークサポート
（株）エネゲート
関電サービス（株）
（株）関電L&A
（株）原子力安全システム研究所
黒部峡谷鉄道（株）
（株）かんでんエルオートシステム
（株）かんでんジョイナス
関電ビジネスサポート（株）
（株）関電オフィスワーク
（株）かんでんCSフォーラム

（株）関電インターナショナル
日本インドネシア・エル・エヌ・ジー（株）
日豪ウラン資源開発（株）
日本電子照射サービス（株）
関電ジオレ（株）
大阪スクールアメニティサービス（株）
オージーかんでん共同企画（株）
（株）かんでんエルハート
関電ベンチャーマネジメント（株）

主な関係会社
（2007年10月1日現在）

歴史

関西電力の歩み

関西電力の出来事	年	社会情勢
電気事業再編に伴い、関西電力発足	1951	講和条約調印
原子力研究開発のため、「原子力部」発足	1957	
世界初の気球工法による鳴門海峡横断送電線工事成功	1961	
7年に亘る難工事の末、黒四発電所竣工	1963	
夏季最大電力が初めて冬季最大電力を上回る	1966	
当社初の原子力発電所である美浜発電所1号機運転開始	1970	大阪で日本万国博覧会開催
	1973	第一次石油ショック
50万ボルト基幹系統完成	1976	
姫路LNG基地竣工	1979	第二次石油ショック スリーマイル島原子力発電所で事故発生
電力業界で初めてTQCを導入	1981	
製造業・建築業以外で初めてデミング賞を受賞	1984	
	1986	チェルノブイリ原子力発電所で事故発生
年度の販売電力量が1,000億kWhを超える	1987	
	1990	大阪で国際花と緑の博覧会開催
美浜2号機蒸気発生器細管破断事故発生	1991	湾岸戦争勃発
美浜2号機事故を教訓として原子力安全システム研究所を設立	1992	ブラジルで地球サミット開催
31年ぶりに電気事業法が改正され、卸電気事業などの規制が緩和	1995	阪神・淡路大震災発生
電気料金の値下げ。初めて電気卸入札を実施	1996	
	1997	京都でCOP3開催
電気料金の値下げ	1998	
電気事業法が改正され、電力の小売部分自由化がスタート 届出による初めての電気料金の値下げ	2000	
5年ぶりに最大電力更新（3,306万kW）	2001	米国同時多発テロ
電気料金の値下げ	2002	米アフガニスタン攻撃
当社電力が「エコリーフ環境ラベル」認証取得	2003	米イラク攻撃
美浜発電所3号機事故発生	2004	
電気料金の値下げ	2005	愛知で日本国際博覧会開催
電気料金の値下げ	2006	
美浜発電所3号機運転再開	2007	

本店:　〒530-8270　大阪市北区中之島3丁目6番16号
TEL: 06-6441-8821
ホームページ　http://www.kepco.co.jp